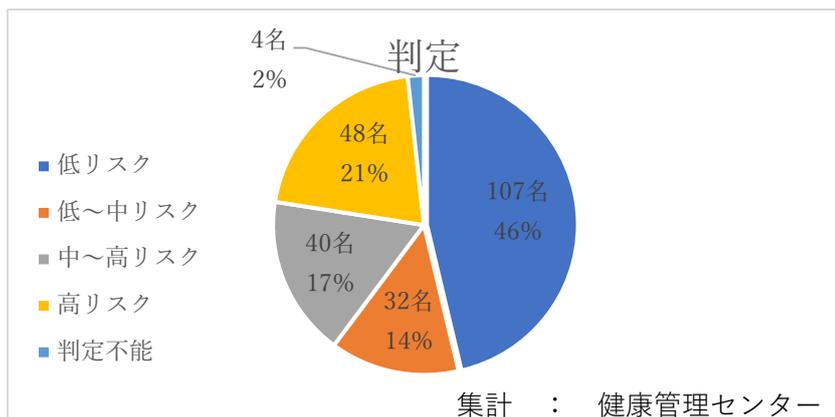


2023 年度歯周病唾液検査の実施結果について

2022 年 6 月に政府が掲げる経済財政運営の指針「骨太の方針」において、全国民に毎年の歯科健診を義務付ける「国民皆歯科健診」の導入に向け検討をしてきました。政府としては、2025 年度頃の導入を目指すとのことですが、導入に向けて引き続き健康との関連性など、科学的根拠を確認しながら検討が進められるものと思います。

当院では、**愛世会**全職員（希望者）を対象に、定期健康診断時に歯周病のリスク検査も実施しました。その結果を統計表にしましたので、ここに公表いたします。

	判定	割合
低リスク	107 名	46.3%
低～中リスク	32 名	13.9%
中～高リスク	40 名	17.3%
高リスク	48 名	20.8%
判定不能	4 名	1.7%
合計	231 名	100.0%



愛誠病院 歯科室より

昨年と比較して低、低～中リスクが6%減少、中～高、高リスクが4%増加という悪化傾向を示しました。

歯周病は歯を支える骨を溶かして歯を失う原因となる病気です。歯周病唾液検査の結果に合わせて歯周病の治療や定期検診を受けて、口腔内の健康を守りましょう。

歯科では唾液検査だけではわからない、歯を支えている骨の状態を調べるレントゲン検査や歯周ポケット測定検査を行いますので、より精密に口腔内の状態を把握することができます。かかりつけの歯科がないようでしたら、この機会に是非一度、歯科を受診してください。

コメント：歯科医師 島村 穰